

課室所名	課室所長名	組織の使命 (組織のありたい姿)	プロモーション活動の取組 (市の魅力や価値の創造・発信のための取組)	経営資源		
				職員数(人)	うち正職員	うち非常勤職員
社会福祉課	木村 忠	<ul style="list-style-type: none"> ■市民がいつまでも安心して暮らせるよう、生活上の支援を要する方に適正なサービスを提供していくこと ・市内関係課及び関係団体等との協働により、互いに支え合う地域づくりを進めるため、サービスの提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿の作成及び配布を進める中で、対象者及び関係団体等に支え合いの意識を浸透させていく。 ・第5期障がい福祉計画を策定する中で、地域共生社会の実現に向けた市の取組を発信する。 	31	21	10 ※4/1現在2人欠員
子育て支援課	小松 忠昭	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援新制度に基づき、子どもの幸せを第一に考えて施策を実施する。 ・地域で子育てを行う環境の構築を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業計画「夢はぐくむゆきんこプラン」に基づき、HPやかまくらFMなどの各種メディアを利用して制度の周知に努め、サービスの利用を推進していく。 	93 (うち厚労省へ派遣1)	18 (うち厚労省へ派遣1)	75
高齢ふれあい課	佐越 良子	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が、いつまでも地域や社会と関わりながら生きがいを持って暮らせるような環境づくりを支援する。 ・高齢者の生活を支える家族や周囲の人々のパートナーとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する様々な制度やサービスについて、職員が自分の言葉で、相手がイメージしやすく説明する。 ・「地域包括ケアシステムの担い手は市民全員」の意識共有を目指し、各地域の、連携の核「生活圏域、生活支援協議体(2層)」の自主的な活動を実効性あるものとするため強力に支援する。 ・ねんりんピック卓球大会を様々な方面で将来に繋がる形で成功させる。 	25	13	12
健康推進課	播磨康博	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が健康寿命を延ばしいきいきと過ごせるようにライフステージに応じた健康づくりを推進する。 ・市民の健康づくりについては、保健・栄養・運動が一体となって総合的かつ効果的に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期健康よこて21計画の推進のために市民の皆さん一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むように、「横手市まめ情報」の発行、HPやかまくらFM等で旬な情報を提供する。 ・横手モデルとしての「健康の駅推進事業」を引き続き推進し、地域コミュニティの醸成を図ってゆくとともに、視察団への丁寧な対応に努める。 	47	28	19
地域包括支援センター	佐藤 明雄	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援事業における、一般介護予防事業と包括的支援事業の普及啓発を図るとともに、認知症対策や権利擁護、医療と介護の連携促進を重点施策として取り組み、要介護支援状態等となることを予防するとともに、要介護状態等となっても、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズや生活実態に基づいて総合的な判断を行い、高齢者に対し、自立した生活を営むことができるよう、継続的かつ総合的なサービスが提供できるよう地域支援事業を実施する。 ・地域包括ケアを有効に機能させるため、多職種連携や住民活動などインフォーマルな活動を含めた社会資源の有効活用を図り、ネットワークを構築していく。 	32	17	15
大和更生園	奥山幸彦	<ul style="list-style-type: none"> 知的・身体・精神の障がいのある利用者に対し、生活介護、施設入所、日中一時支援等のサービスを提供し、日常生活及び社会生活に必要な支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三施設合同ふれあい祭を中心に、地域住民や高校生等のボランティアの協力を得ながら地域に開かれた施設運営を推進する。 ・大雄庁舎清掃の実習及び地元集落の運動会や鹿嶋送り等の行事に参加し、交流を図る。 	36	17	19
ユニー・ホップハウス	奥山幸彦	<ul style="list-style-type: none"> 通所可能な障がい者を受け入れ、生活介護支援や働く場及び社会参加の機会を提供するとともに、自活に必要な指導や訓練を通じて社会的自立ができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三施設合同ふれあい祭を中心に、地域住民や高校生等のボランティアの協力を得ながら地域に開かれた施設運営を推進する。 ・大雄サマーフェスティバルでの物販や大雄庁舎の清掃実習を行い、社会参加の機会を提供する。 	17	5 (うち再任用2)	12

■平成29年度

健康福祉部

課室所名	課室所長名	組織の使命 (組織のありたい姿)	プロモーション活動の取組 (市の魅力や価値の創造・発信のための取組)	経営資源		
				職員数(人)	うち正職員	うち非常勤職員
ひらか荘	守屋 長光	入所者一人ひとりの個性や生活リズム自主性等、人間としての尊厳を尊重し、規律ある団体生活と健康で明るい生きがいのある日々を過ごせる施設づくりを使命とする。	入所者が地域との関わりをもち、社会性を維持できるよう、入所者の社会参加や施設外での日常生活活動等に対する支援を積極的に行うとともに地域に根ざした施設として相談機能等を地域にも還元し、地域の高齢者に対し、生活相談や見守り支援等を行うなど、地域との関わりを積極的に推進する	24 (うち再任用1)	13 (うち再任用1)	11
白寿園	渡辺 勇進	・利用者の状況を把握し、本人及び家族の同意の基に介護プランを作成してサービスを提供していくとともに、安全で公平・公正な風通しの良い施設運営に努める。	・「健康の丘おおもり」の市直営特別養護老人ホームとして、福祉・医療・介護の総合的価値を研修生や福祉関係者及び介護支援専門員等にPRしていく。	88 (うち再任用2)	36 (うち再任用2)	52
老健おおもり	佐藤 育三	・看護や介護を必要としている療養者の皆さんに、個々のニーズに応じたリハビリテーションや日常的な看護、介護による総合的なケアサービスを行うことにより、身体機能の改善や日常生活に順応できる行動の向上を図り、自立への意欲を醸成し在宅復帰を目指す。	・市直営施設として、民間施設では受け入れることが困難なケースや多様化する住民ニーズに対して、迅速かつ平等なサービスを提供する。 ・毎月の誕生会で、市内のボランティア団体を受け入れて利用者やその家族及び地域住民との親睦を深める。	55 (うち兼務2)	35 (うち兼務2)	20
指定通所介護事業所	佐藤 育三	・居宅において、生きがいを持ち日常生活が送れるように、通所介護を通じて本人や家族を支援する。	・毎月の誕生会で、市内のボランティア団体を受け入れて利用者やその家族及び地域住民との親睦を深める。	14 (うち兼務2)	3 (うち兼務2)	11